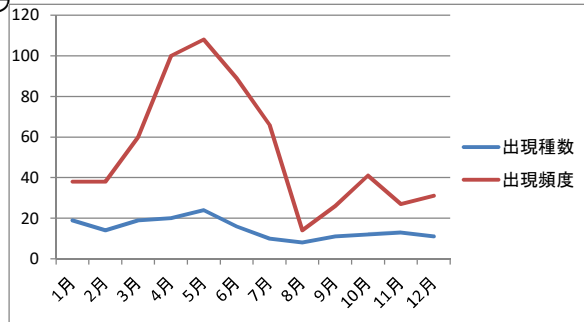


目的 どんな鳥がどれくらい見ることができるか調べる

調査期間 2022年1月1日～12月31日
 調査範囲 三和ゲートから入って南側、誘導灯手前までの作業用道路付近
 調査方法 ①、ラインセンサス 作業用道路を歩きながら一周し出現地、種名、数、行動等を調査
 ②、スポットセンサス ①の継続で①の中に設定した定点5カ所に10分間とどまり出現地、種名、数、行動等を調査
 調査回数は1～2回/月、調査時間は午前中を目標とした 所要時間は1回あたり2～3時間程度目安
 ③、①②(リスト中●)以外にボランティアの作業中やオイスカ吉田部長さんの確認記録(リスト中○)も含めた

調査結果
 ・2022年は計44種確認 → 詳細下記リスト
 ・4～6月にかけての種数、出現頻度の増加傾向は → 下記グラフ
 夏鳥の渡来、通過や留鳥の求愛、餌探しなどの繁殖行動で出現が目についた為と推測します
 ・今季(2022年年末～2023年年初め)冬鳥の渡来が遅れ気味なのか代表格のツグミ、カシラダカがほぼ見れていません
 ・黒松が育ち海岸線の林が帯状に繋がるにつれ、渡り鳥が海岸林を利用しているのを目にする機会が増えた様に感じます
 黒松が育てば隠れる場所が増え鳥も見にくくなりますが、これからもその生活の一端でも見ることができればと思っています
 ・今回の調査結果は海岸林に生息する鳥全てを網羅するものではありません、調査時間に偶然居合わせた鳥の記録程度と理解して下さい

月別出現種数・頻度 グラフ



月別出現種数・頻度

調査月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出現種数	19	14	19	20	24	16	10	8	11	12	13	11
出現頻度	38	38	60	100	108	89	66	14	26	41	27	31

2022年確認鳥類リスト

種名	タイプ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
キジ	留鳥			●	●	●	●					●	
マガン	冬鳥		●										●
キジバト	留鳥		●	●	●	●	●		●	●		●	●
カワウ	留鳥	●	●	●							●	●	●
アオサギ	留鳥				●								●
ダイサギ	留鳥	●			●							●	
カッコウ	夏鳥						●						
ヨタカ	夏鳥									○			
タシギ	留鳥	●				●				●			○
10 ウミネコ	旅鳥			●		●							
オオセグロカモメ	旅鳥					●							
ミサゴ	留鳥	●	●	●	●	●						●	
トビ	留鳥	●	●	●	●	●				●	●	●	●
ハイタカ	留鳥			○	●								
ノスリ	留鳥	●	●	●				●			●	●	
コミズク	冬鳥	●											
アカゲラ	留鳥					●							
チョウゲンボウ	留鳥											●	●
20 ハヤブサ	留鳥	●		●				●					
サンショウクイ	夏鳥					●							
モズ	留鳥	●			●	●		●	●		●		
オナガ	留鳥					●	●	●					
ハシボソガラス	留鳥		●	●	●	●							
ハシブトガラス	留鳥	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●
シジュウカラ	留鳥	●		●					●		●	●	●
ヒバリ	留鳥		●	●						●	●	●	
ツバメ	夏鳥				●	●	●	●	●	●			
ヒヨドリ	留鳥	●			●	●					●		●
ウグイス	留鳥	●		●	●		●	●	●	●	●	●	
30 メジロ	留鳥				●								
オオヨシキリ	夏鳥					●	●						
セッカ	夏鳥				●	●	●						
ムクドリ	留鳥					●	●						
ツグミ	冬鳥	●	●	●									
ジョウビタキ	冬鳥	●											
エソビタキ	夏鳥										●		
スズメ	留鳥					●	●	●	●				
ハクセキレイ	留鳥			●	●	●				●	●		
カワラヒワ	留鳥	●	●	●	●	●	●				●	●	●
40 ベニマシコ	冬鳥	●	●	●							●	●	
ホオジロ	留鳥	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●
ホオアカ	夏鳥						●						
カシラダカ	冬鳥	●	●									●	
アオジ	留鳥				●	●	●	●		●			
出現種数		19	14	19	20	24	16	10	8	11	12	13	11
出現頻度		38	38	60	100	108	89	66	14	26	41	27	31